

表紙に使用している画像は、小川和紙の「揉紙」です。できあがった和紙を水に浸して揉み、広げて乾燥させることにより、立体感のある紙に仕上がります。

こどもまんなか
(小川小学校編)
裏表紙に関連記事

＼必読！／

紙面で読む伝える

P.2-5 地区懇談会スタート
地域の未来を一緒に考える

P.8-12 一般質問「9議員」の視点

P.13 シリーズ 16人の一歩
進み続ける議会 Vol.12

P.14-15 3常任委員会調査研究レポート
人口減少は地域力を
再構築するチャンスに！

＼見応えあり！／

動画で見る魅せる



こどもまんなか
～小川小学校編～
&「ポロシャツ議会」本会議場より

第1回地区懇談会
～老人クラブ編～
「健康と生きがい」45人の声



No.120

発行...埼玉県小川町議会

令和8年6月定例会
会期:6月23日～7月2日
2026.9.1発行

小川小 代表委員会の皆さん

集まりに、
男性の参加が
少ないのが
問題

100歳体操は
地域の
情報交換の場
になっている

4月21日
八和田地区

ウオーキングは
お金がかから
なくていい

老人クラブの
刷新・充実が必要。
まず新しい人に
入ってほしい

申請・報告が
面倒。
もっと簡単に
できないものか

準備段階から役員の方々と内容の調整をした
ことと会員の皆様に事前アンケートを取った
ことが良い結果に結びついたと感じます。
できるだけ多くの町民の考えをお聴きし、共
有していくことが目的だと捉えていますので、苦労を
惜みず継続したいです。(地区担当 島崎委員)

趣味の教室での
作品作りや、
夫婦や友達との
旅行が楽しい

百歳体操や
サークル活動を
続けています

子どもや若い人への
援助は見えるが、
老人の活動へも
支援がほしい

救急救命を含めた
健康講座等を
行っています

4月24日
小川地区

散歩、
ラジオ体操、
グラウンドゴルフが
健康の秘訣

参加された方は、老人会の中でも健康的な生活を送り、なおかつ前向きな生き方をしている人たちだと感じました。小川地区という地域柄、買い物、医療等、比較的恵まれた地域内ということで、ネガティブな意見等はほとんどありませんでした。出席者の多くが懇談会を満足と答えていただいたことは、励みになりました。(地区担当 大戸委員)

テーマ「健康と生きがい」地区懇談会スタート!

地域の未来を一緒に考える

昨年9月に広聴特別委員会を設置し、どのように懇談会を行い、どう生かしていくか検討を重ねてきました。そして、今春ついに実現。各地区の老人クラブの代表と「健康と生きがい」について話し合いました。懇談会の様子と、いただいた意見を受けて議会から町へ要望・提言をお知らせいたします。

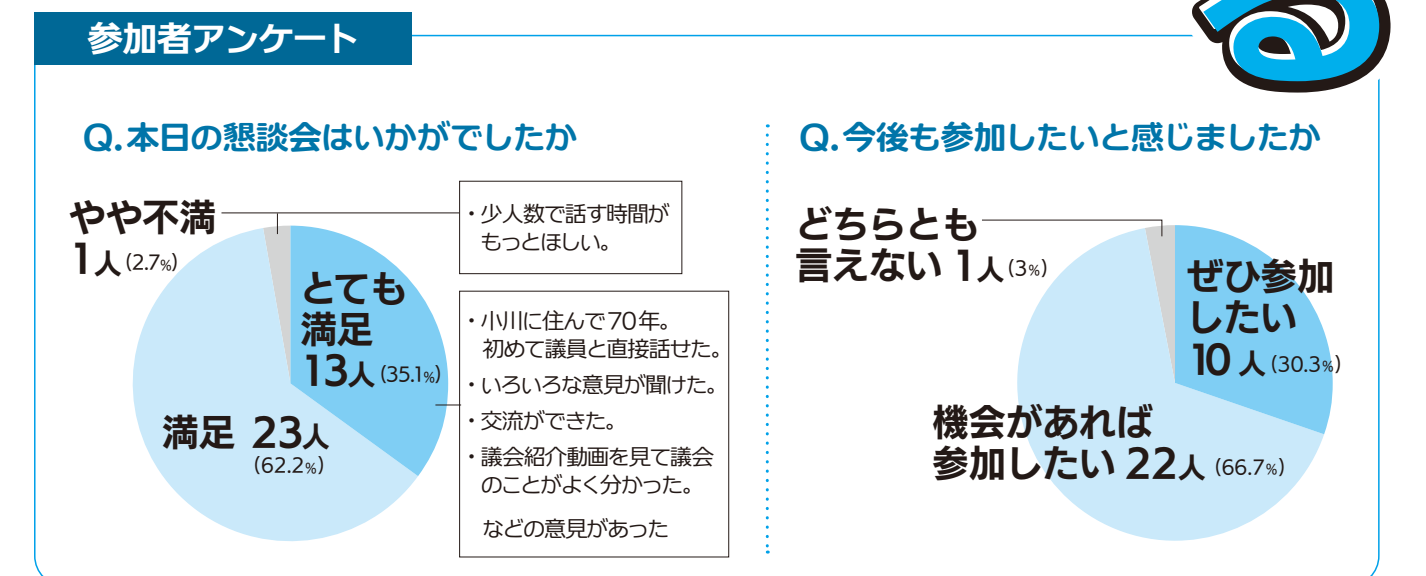
— ともに作り上げた懇談会 —

広聴特別委員会は「議員が話す場ではなく、住民の皆さんが主役となる懇談会に」「一度さりのパフォーマンスではなく、取組をいかに継続していけるか」という考えのもとに、実施しました。

懇談会の開催に当たっては、各地区担当委員を配置して、各地区老人クラブ会長の皆さんと協力しながら準備を進めました。地域の皆さんとともに懇談会をつくり上げることができたことは大変意義深く、議会としての「新たな一歩」につながったと感じています。(広聴特別委員会 稲村委員長)

小川町の「今」と「未来」について話し合いました
町民の皆さんとの地区懇談会
小川町議会

力強く趣旨を語る委員長



対話の大切さを実感

老人クラブの皆さんの声を町政へ

議会から町へ要望・提言

- 01 老人クラブ活動への継続的な支援の充実**
申請・報告の事務手続を簡素化してほしい
- 02 おがわいきいきシニアポイント事業の拡充**
ポイントの対象活動を広げたり、ポイント数を見直したりしてほしい
- 03 公共施設を利活用した高齢者交流拠点の確保**
学校跡地を含む公共施設の利活用で、地域住民が交流できる場がほしい



6月議会最終日、島田町長に要望書を手渡しました

詳しくは、こちらからご覧ください→



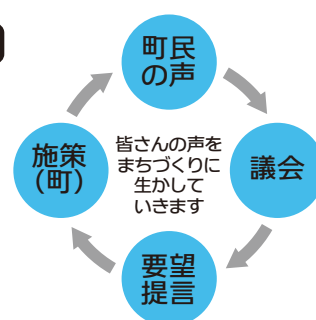
Gikai's eye

住民との対話から見てきたもの

今回の地区懇談会を通して、改めて「対話」の大切さを実感した。住民の皆さんの思いや地域の課題を直接聞くことは、議会にとって大変貴重である。今後も地区懇談会を継続する中で、対象者やテーマを広げ、政策提言として町に要望し、よりよいまちづくりにつなげていく。

継続を望む声

次回は、若者が対象。秋頃を予定



次ページは
「補正予算の質疑」ほか

移動手段がほしい。
地域の集まりに行くにも必要

4月26日 大河地区

アップダウンを生かして散歩している

ハイキング+食事やゲームがセットになっているのが楽しい

今や、老人クラブが町の核になっている。ますますがんばる！

そば打ち、クリスマス会等のイベントが楽しい

事前打ち合わせでは、多くの町への要望をお聞きし、老人クラブの皆さんの意識の高さを実感しました。当日は「健康と生きがい」への個々の取組、地域の取組、今後への不安など、活発なグループ討議が進みました。地域に出ていく日常の活動がいかに大切か、そしてそこに行けなくなることへの不安、日々の暮らしからの課題、今後へのヒント。本当に有意義な機会となりました。(地区担当 高橋さゆり委員)

清掃活動、百歳体操、見守り隊等、社会とのかかわりを持つこと

グラウンドゴルフの三世交代りや用具への補助を

散歩やグラウンドゴルフに積極的に参加することと減塩してフレイル予防に努めています

コミュニティや交流の場としての居場所づくりを(竹沢小の跡地を利用したい)

4月28日 竹沢地区

シニアポイントのようなご褒美があると、外へ出るきっかけになる

ワークショップ形式で意見交換を行い、多くの率直なご意見を伺うことができました。今回改めて感じたのは、広聴は意見を集めることだけで終わるものではないということです。一つ一つの声を丁寧に整理することで、地域ごとの実情や課題が見えてきます。その積み重ねが、より地域に寄り添った議会活動につながると感じました。(地区担当 五十嵐委員)

資材の調達や人材確保が懸念される中、5億1920万円の予算で来春には新たな学童保育室が新設される。



「おがわ西学童保育室」建設予定地（旧西中学校体育館跡）



「小川学童保育室」建設予定地（現小川小学校前庭）

Q 施設使用開始が遅れた場合、管理委託業者や保護者・児童・学校はどう対応するのか。

A 小学校の特別教室や現学童保育室を利用する方向で調整を図り、関係者と連携を密に影響が最小限になるよう努めます。

※最終日に追加議案として審議

令和8年度一般会計補正予算

町営住宅の今後の方向

長寿命化 or 解体？

Q 町営住宅長寿命化事業の詳細は。

A 中耕地住宅の受水槽の更新工事、南里住宅の外壁改修のための設計を委託するものです。

Q 町営住宅には現在も多くの人々が居住しているが、今後の長寿命化等の方向性は。

A 平成に建設した久保田、中耕地、八幡東、南里住宅は必要な改修工事を行い、長寿命化を図ります。昭和に建設した団地

として八幡台、南、木部は、入居者が退去した後に順次解体する予定です。

AQ 解体経費の見通しは。

A 現在進めている木造戸建て1棟の解体費用は、100万円を見込み予算化してあります。八幡台と木部の長屋造り住宅は、具体的な解体費用の算出は行っていない。

地域農業の支援

Q 機械化等への補助のようだが、対象等は。

A 地域の中核となる農業の担い手が対象になります。地域計画に位置づけられた農業の担い手で、集団営農や営農組織、認定農業者が該当します。農業の構造改善や機械化などに補助が受けられます。

部活動の地域展開

Q 部活動の地域展開は市町村に委ねられているが、補助金の使途についてルールはあるのか。

A 補助金の対象は休日の部活動費の支援です。具体的には、指導者の保険、旅費、謝金、活動に要する用具、生徒の保険料

臨時会（6月5日）

西小学校体育館の空調

Q 西小学校は、指定避難所として重要であり、災害時に影響を受けやすい都市ガス方式より、復旧が早いプロパンガス方式の方がよかつたのではないか。

A 西小学校は、既に都市ガスの基盤ができています。また、バルクタンク増量化と非常用発電機を設置し、非常の避難時にも空調に支障がないと判断しました。

Q 4月1日に新校が開校する。資材調達や工事関係者確保などの心配があるが、スケジュールに無理はないか。

A 工程は設計業者等から示されており、工期内に工事が完了するものと考えています。



6月定例会の会議録は令和8年10月上旬から見られます。二次元コードからインターネットで「小川町議会 会議録」と検索

Pick up!

木造1棟解体予算

100万円

学童保育室

2棟新築

知っておきたい！この数字

公開します 審議した主な議案

○…賛成 ×…反対 ※一印は議長。議長は賛否同数の場合のみ「議長決裁」として採決に参加します

議 案 名		議 員 名															審 議 結 果	
		田 中 立 男	関 根 慶 則	田 端 良 成	岡 部 久 志	稲 村 壤 治	鈴 木 秀 尚	五 十 嵐 康 博	笠 原 規 弘	大 戸 久 一	田 中 照 子	笠 原 英 彦	高 橋 功 人	高 橋 さ ゆ り	山 口 勝 士	島 崎 隆 夫		高 瀬 勉
補正予算	一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決
	一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決
その他	おがわ西学童保育室及び小川学童保育室新築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決
	おがわ西小学校体育館空調設備新設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決



平成20年3月議会以降の審議議案の一覧と議決結果を議会ホームページで公開しています

仕事を一つ一つ丁寧に覚え、知識と対応力を身につけられるようがんばりたいです。（Y・Aさん）



経験を積みながら、何でも安心して任せてもらえる職員を目指します。（F・Kさん）



120号にかけて /

役場新入職員に聞きました120%頑張りたいことは？

Vol.34 Mini Interview

オガワマチのこと・ギカイのこと「一緒に見よう、考えよう」P.12までつづきます！



9の視点 一般質問

島田町政2期目のスタートと「第6次総合振興計画」の初年度の定例会。9人の議員が徐々に進行する縮小社会を見据え、取り組むべき課題にアプローチ。解決策を質す。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



- | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|------|--------|-------|-------|
| P.12 | P.12 | P.11 | P.11 | P.10 | P.10 | P.9 | P.9 | P.8 |
| 業務効率化 | 食事支援 | 子育て環境 | 環状1号線 | 町立保育園 | 森林管理 | 系統用蓄電池 | むし歯予防 | 農業の未来 |



答弁 高齢化、農地荒廃、
害獣被害です

Q 地域計画作成時に各地区で出た主な課題は。
A 環境農林課長 農業従事者の高齢化とそれに伴う遊休農地の増加、獣害による農作物の被害が全ての地域で出た共通の課題です。
Q 地域計画をブラッシュアップするために担当課で取り組んでいることは。
A 環境農林課長 担い手の確保が最重要課題であり、新規就農者や定年帰農者などの多様な人材確保に向け、関係機関と連携して農業技術・経営支援などの各種サポートを行っています。
Q 地域計画を進めるには、農業関係者が本気で「農業の未来」を話し合うことが重要と考えるが。
A 環境農林課長 今年度は、実行性のある計画にするため、モデル



天空のスイカ現地研修（上横田）

ル地区で具体的なブラッシュアップに取り組み、全地区に展開していきたいと考えています。
Q 行政区単位や水利関係者などの小グループの話し合いをサポートすることは可能か。
A 環境農林課長 協議には関係者と連携し、積極的に参加します。
●その他の質問
・町長2期目のミッションは



せんこう
フッ化物洗口
に対する考えは
答弁 課題を検証し導入
の可否を検討します



太陽光条例の
改正で対応は
答弁 別建てで要綱等を
作成します

樹木の伐採のルールは
Q 伐採せざるを得ない場合でも、事前に一定の周知が必要では。
A 政策推進課長 住民の安全を第一に考え、地域への周知も念頭に、町有地の樹木の適切な管理を実施していきます。

●その他の質問
・道の駅のこの1年とこれからは

Q 大型の系統用蓄電池が当町でも次々に設置され、町民は騒音や火災等の危険に不安を感じている町としての対応は。
A 環境農林課長 系統用蓄電池の適正な設置や管理を事業者に求めることができるよう、8月を目途に要綱の作成を進めています。
Q 現行の太陽光条例を再生可能エネルギー全般に広げて改正できないか。
A 環境農林課長 系統用蓄電池の要綱は、別建てで作成します。要綱の運用実績や事業者の対応状況、ほかの自治体の先行事例や国の動向を注視し、要綱による行政指導のみで適正な管理が困難な場合には、条例化への移行を視野に入れて検討を進めます。



移動時の安全確保
Q 部活動の試合や校外行事の移動手段の現状は。
A 健康福祉課長 歯科保健事業としての期待される効果、そして事業化に対する課題等を整理しつつ各課と連携を図り、引き続き情報収集に努め、検討します。



小川町議会だよりは

情報にコダワル！

用語解説はじめ関連情報への二次元コードなど「読者目線」の編集を心がけます。

新しい知識や業務を積極的に学び、
成長していきたいです。
(N・Cさん)

里山の恵みを未来へつないで、地域
とともに農林業の発展に挑戦してい
きたいです。(A・Mさん)

先輩方から学びながら、一日でも早
く仕事を覚えることができるよう頑
張ります。(T・Yさん)

仕事を早く覚えたいです。毎日メモ
をかかさないようにしています。
(T・Rさん)



所有者への調査の結果等は

答弁 多くが管理を委ねたいとの意向です

Q 所有者への意向調査の結果、見えてきた課題は。

A 環境農林課長 回答者の7割以上が「今後の経営管理を町または森林組合等に委ねることを検討している」と意向を示されています。

A 環境農林課長 都市部と山側の自治体が連携し、森林整備や木材利用等を行い森林の公益的機能の維持や発揮を図るため「埼玉県山と町をつなぐサポートセンター」が設置され、鶴ヶ島市と「ゼロカーボンシティの実現に向けた森林の保全に関する協定」を締結し活動しています。

Q 経営管理を町に委ねる場合、町はどう対応するのか。

A 環境農林課長 経営管理集積計画を作成し、経営管理権を設定することになります。林業経営として採算が合わない森林や、町の人員体制、財政状況等を踏まえると、町の経営管理権の取得に関しては現在実施中である意向調査・現況調査を進める中で、森林の採算性や持続的に管理が可能であるかを調査し、将来に向け段階的かつ慎重に判断していきます。



豊かな森林資源を次世代へ



社協へのスムーズな移行は

答弁 スムーズに移行ができたと考えています

Q 社会福祉協議会に対する保育園運営の民間移行は、スムーズに行われたか。

A 子育て支援課長 令和7年度から町職員を1人派遣し、移行事務の円滑化を図ってきました。計画的かつ段階的に準備を進め、スムーズに移行ができたと考えています。

●その他の質問
・第6次総合振興計画
・閉校する大河及び竹沢小の継承

Q 保育の質・保護者対応・園内の安全管理等は十分か。

A 子育て支援課長 国の職員配置基準より手厚く配置し、質の高い保育を実施しています。また、保護者対応は、信頼関係を深め、安心につながる対応に努めています。安全管理については、タブレット端末を導入し、登降園の管理ができるようになりました。



民間移行した大河保育園



周辺整備を示すべきでは

答弁 関係機関と段階的に進めていきます

Q 環状1号線未整備区間（県道熊谷小川寄居線と町道209号線、約0.3キロメートル）の事業実現に当たり、町が積極的に当該事業地および周辺整備の具体を示すべきでは。

A 都市政策課長 道路の機能を最大限に生かす周辺整備について、関係機関と段階的に進めていきます。

Q 50歳以上の方へ、任意接種の拡充を検討できないか。

A 健康福祉課長 現時点では対象者の拡充に向けた検討段階にはありませんが、町民ニーズの把握や先行自治体の情報収集に努め、制度化の可能性を研究します。



魅力ある自然体験の拡充を

答弁 ニーズに合った体験教室の充実を図ります

Q 「豊かな自然」を生かした魅力ある農業体験や自然体験の拡充・充実を。

A 生涯学習課長 公民館講座の「親子わくわくカヌー教室」や、子ども会連絡協議会での「サツマイモの苗植え・収穫体験」などを実施しています。今後も、住民ニーズを把握し、家庭ではできないような体験や教室の拡大を図り、充実させていきます。

A 学校教育課長 各図書館が特色を持つて連携し、読書活動の推進・探究的な学び・地域の歴史文化に関する学習を図ることは、魅力ある教育及び子育て環境の形成につながる可能性があります。関係機関との連携を研究し、学びの充実につながる取組を検討していきます。

Q バイパスや環状線沿いには企業が注目している。町長が公約した企業誘致につながる取組は。

A にぎわい創出課長 大きな壁である農地法や都市計画法上の用途制限について、どうすれば立地ができるのかという視点で、関係各課や県とも連携を密にし、解決に向けた方法を見出していきます。



未来志向の土地活用を

Q 再編後の学校図書館（東小・西小・小川中）の充実を。

A 学校教育課長 学校再編は教育環境を充実させる大きな機会です。学校図書館の活用についても、改めて検討したいと考えています。



槻川の自然を満喫するカヌー教室



小川町議会だよりは

見出しに「ダフル！」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

早く仕事を覚え、ミスなく業務を進められるように、頑張りたいです。(S・Yさん)

体力づくりのために、週2回は運動するように頑張りたいです。(T・Dさん)

臨機応変に対応できるように、経験を積んでいきたいです。(K・Eさん)

どんなときも元気に明るく頑張っていきたいです。(A・Sさん)

シリーズ

16の1歩!!

進み続ける議会

Vol.12

今次任期も残すは1年間。迫る「14人議会」に対して準備を進めています。議会運営委員会から部分答申として示された「常任委員会」の再編。また、広聴活動の充実（P2-5参照）を柱に、より身近で「開かれた議会」に向けたチャレンジとアクションは続きます。

諮問に対する部分答申 常任委員会を3から2に再編！



部分答申文は
こちらから

常任委員会の機能維持と活発かつ多様性に配慮した議論を確保するため「2常任委員会」にすることが妥当との答申。総務と経済建設を統合した「総務経済建設」及び「厚生文教」に再編し、定数はいずれも7人を想定。現行の所管事務を引き継ぐこととしています。



14人議会に向けた議論は続きます

ポロシャツ議会の開催 「こどもまんなか」を全力で発信！

昨年の9月定例会以来、2回目となる「ポロシャツ議会」を開催しました。

この取組は、クール・ビズによる環境への配慮をはじめ、議会を「より身近で親しみやすい存在」として感じてもらいたいとの想いから実施したものです。また「こどもまんなか応援サポーター」のロゴを配した揃いのポロシャツを着用し、その理念を広く発信しました。



次代を担う子どもたちを全力応援

七夕まつりの竹飾り 和紙の普及宣伝に！

全議員で分担し、くす玉の花折りをはじめ、今年も竹飾りの制作に励みました。七夕まつり当日は、猛暑の中で汗だくになりながらの飾りつけ。議会は「和紙のふるさと小川町」のPRに本気です！



“カラー”が映えるくす玉作り

“400”の願いを込めた竹飾り

次ページは「常任委員会報告」

食事支援



たなかたつお
田中立男議員
が町に問う！

夏休みの子どもへの支援は

答弁 こども食堂が年間を通じて活動しています

Q 町内のこども食堂の実態と町の支援状況は。

A 子育て支援課長 町内で7団体が活動し、利用者は1食堂当たり約20人から30人です。当町の支援として、各食堂で作成するチラシや活動報告を町ホームページに掲載し、周知に努めています。

Q 愛知県および市では、夏休み期間中にこども食堂を提供する取組を開始した。当町としても対策が必要ではないか。

A 子育て支援課長 みよし市の取組は大変意義深い施策です。町内のこども食堂は年間を通じて活動をし、夏休み期間中も含めた食事提供の場として機能しています。当町の支援活動は、こども食堂の情報提供や周知の工夫をさらに進めます。次に、県や町の社協と連



こども食堂での食事は楽しいね！

携を強化し、生活困窮世帯の情報把握と支援制度の活用促進に努めます。

和紙の展示室に説明員を

Q 道の駅にある展示室に土日だけでなく説明員を配置できないか。

A にぎわい創出課長 指定管理者とともに検討していきたいと考えます。

業務効率化



たばたよしなり
田端良成議員
が町に問う！

自治体DX重点取組事項は

答弁 eL-QRとAIを導入済みです

Q 国が示す自治体DX重点取組事項に公金収納におけるeL-QRがあるが、対応しているか。

A 政策推進課長 eL-QRを令和5年5月発行の納付書から対応しています。現時点では、税収納のみの対応となっていますが、今後、介護保険料、後期高齢者医療保険料等の公金に対応できるよう担当課と検討しています。

Q AI利用推進も重点項目にあるが、導入しているか。

A 政策推進課長 生成AIの活用状況は、音声テキスト化システムほか、自治体専用の汎用生成AIシステムを導入しています。これらのシステムにより、業務の効率化と職員の負担軽減に向けて取り組んでいるところです。



eL-QRでキャッシュレス納付

A 政策推進課長 個人情報や機密情報に関するセキュリティ上の課題があるので、職員向けの研修と生成AIの利用に関するガイドラインを整備します。現在職員が適切に活用できるよう環境を整えているところです。今後は生成AIの導入によって生まれた時間や資源を、住民サービス向上等に還元していきたいと考えています。

何事も積極的に取り入れて、毎日少しずつ成長していけるよう頑張りたいです。(Y・Nさん)

窓口・電話対応などで分かりやすい説明ができるように心がけています。(S・Yさん)



詳しくは
こちらからご覧ください

「地域防災力の確立」「公共交通のネット
いずれのテーマも縮小する社会を住民参加（共創）で乗り越えて

ワーク化」「部活動の地域展開」
行こうとする試みであり地域力を高めるチャンスでもあります。



研究テーマ等

「地域防災力の強化」につなげる公共施設の利活用

人口減少と高齢化に伴い地域防災力の弱体化が懸念される中、不要となった公共施設を地域の拠点として活用している事例を学ぶ。

防災を「特別な訓練」から「日常的なもの」へ

東日本大震災により歴史に幕を閉じた旧野蒜小学校（宮城県東松島市）を防災体験型の宿泊施設【KIBOTCHA】にリニューアル。防災を「特別な訓練」から「日常に溶け込む体験」として位置づけている。子どもから大人まで参加できる施設で、災害時には最大1万人を守る拠点に。



「希望」「防災」「未来 (future)」の造語。
未来を支える子どもたちに命の尊さを伝えたい

まとめ

当町に見合った「地域防災」の確立に向けて



笠原規弘
委員長

災害時に的確な防災倉庫の運用ができるよう、地域や自主防災組織との協力体制を整えることが急務である。公助だけに依存せず、自助・共助の体制を構築していくために、若年層を核とした地域防災リーダーの確保と育成、防災の観点から既存公共施設の再評価も必須である。



研究テーマ等

子どもが生き生きと活動する「地域クラブ活動」

部活動が果たしてきた教育的な役割を、地域資源を活用することにより、教員の働き方改革と地域の活性化に結びつける。

スポーツ協会や関係団体との連携が必須

令和8年度から本格実施を始めた新潟県胎内市と魚沼市の視察から実感したことは、両市のスポーツや文化の歴史や風土を背景に準備してきたことである。人材（指導者）、施設（グラウンドや体育館）、資金（公費、保護者負担、民間の寄附）、生徒の移動手段など課題は多い。



地域展開の要であるコーディネーターからの説明

まとめ

生涯にわたりスポーツや文化を楽しめる地域づくりを



山口
委員長

部活動地域展開の目的は、少子化の中、将来にわたり子どもたちがスポーツなどを継続して楽しむ機会を確保していくことである。教育委員会と継続的に情報共有を深め、生徒の成長に寄与できる地域クラブへの移行に向けて働きかけていきたい。



研究テーマ等

持続可能な行政サービスのための基盤整備を学ぶ

少子高齢化がもたらす課題に対し「立地適正化計画」「公共交通」「空き家対策」の視点から持続可能な行政サービスについて、調査研究を行った。

持続可能な行政サービスのための都市整備を学ぶ

国が進める【コンパクトシティプラスネットワーク】を積極的に推し進めている栃木県芳賀町・さくら市を視察。「立地適正化計画」「公共交通」「空き家対策」の的確な施策を評価してのことだ。「持続可能な行政サービス」を模索する中、当町の将来の人口に適したものは何か。そして、早急にやらねばならぬ施策とは。



芳賀町と本田技術研究所が連携し、協調人工知能を組み込んだ実証実験車両

まとめ

住民が住み続けたいと思うまちづくりを



島崎
委員長

地域資源を最大限に生かし、町の活性化による財源の確保が持続可能なサービスにつながると考える。そのためには、単独ではなく広域での【都市計画】が必要だと学んだ。また、住民の声を聴くことで意思疎通を図ると同時に、官民連携で当町に適したまちづくりを進めるべきである。

総務

文教厚生

経済建設

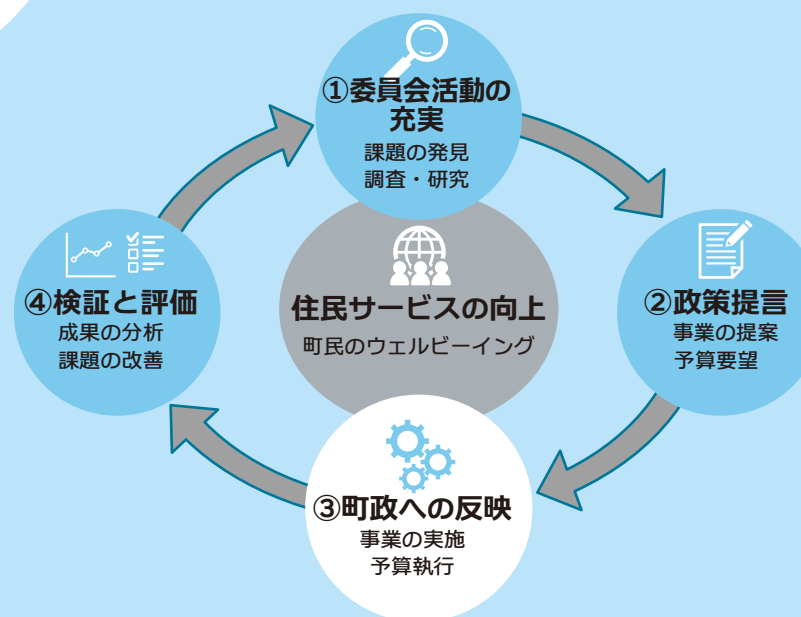
報告を受けて



高瀬議長

政策立案や議会のチェック機能を高めるために

常任委員会が動かす政策サイクル



各常任委員会において、現地視察をはじめ関係機関との意見交換など、充実した調査研究が図られました。また、今次の報告は、それぞれの委員会が専門性を生かし、主体的かつ実践的な調査を積み重ねた成果であり、当町が抱える様々な地域課題の解決につながるものと捉えています。

所管事務調査は、行政課題を的確に把握し、政策立案や議会のチェック機能を高めるために重要な活動となっています。今後も、それぞれのカラーを十分に発揮し、より活発で実効性のある委員会活動が展開されることを期待しています。

住民との対話と協働で持続可能なまちに

わたしの「まんなか」

小川小学校 校長 小林 聡さん



伸びるときに伸びよう 伸びるときに伸ばそう

小川小学校の子どもたちは「のびっ子」と呼ばれています。全校朝会の際に司会が「のびっ子の皆さん、おはようございます!」と呼びかけます。また、業間に、天気がよければ外で自由に遊ぶ「のびっ子タイム」として取り組んでいるところからも分かります。

校庭の体育小屋に『伸びるときに伸びよう 伸びるときに伸ばそう』と掲げられています。これは、かつて勤務していた教職員たちによってつくられたもので、子どもたちが心身共に健全に育ってほしいという願いが込められた合言葉であると聞いています。

小学校6年間で、子どもたちは学力、体力、そして人と関わる力が、時に少しずつ、時に大きく伸びていきます。そして、

私たち大人は、その脇で見守ったり、手を携えたり、そっと背中を押してあげたり、一緒に歩いたり走ったり…。子どもたちの「伸びたい」気持ちと大人たちの「伸ばしたい」気持ちが重なって一つになったとき、「小川小のびっ子」ここにあり!



未来を切り開く元気な「のびっ子」たち 健やかな成長を期待しています

次の定例会は 午前10時
開会予定
9月1日(火)～



本会議や委員会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議当日、役場3階議会事務局にお申し出ください。

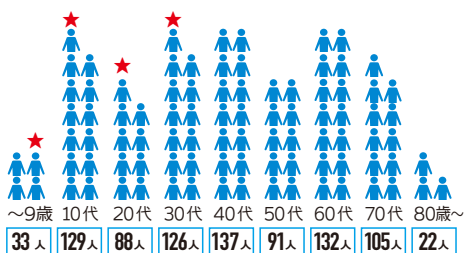
←日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ

議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ

※2016年5月リニューアル号
(No.79)以降の合計人数

863人 (★印は今号取材)



●今号の表紙●

クラスから選ばれた4・5・6年生の代表委員さん。とても頼もしい存在ですね。

編集後記

「結果は残念だが、世界のブラジルと真剣勝負ができたことで我々が積み上げてきたものが世界で渡り合っている、と手応えを感じた。成長を続けていければ未来は必ず世界一を取れる日がくる」サッカー日本代表の森保監督は情熱的に語った。今月は決算議会、私たちも同じ気構えで望んでいこう。(笠原規弘)

発行責任者：小川町議会議長 高瀬 勉

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 鈴木秀尚
委員 田中照子・笠原規弘・関根慶則
田中立男・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています